

梨花女子大学の強み、戦略、課題

—事前質問への回答と CHUN 教授へのインタビューから—

Advantages, Strategies and Challenges of Ewha Womans University :
Through a Questionnaire and an Interview with Prof. Chun

チョン・ジョンセル & 安東由則 ***
(インタビュー通訳：鳩山京美、事前質問翻訳：安東由則)

CHUN, JongSerl, * & ANDO, Yoshinori**

安東 由則 (監訳・編集)
(Interview Interpreter : HATOYAMA, Kyomi / Translation : ANDO, Yoshinori)

目次

はじめに：調査の目的と手続き

1. 韓国の女子大学についての質問
2. 梨花女子大学の歴史と現状に関する質問
3. カリキュラムとリーダーシップ・プログラム
4. 外国人学生と非伝統学生のリクルート
5. トランスジェンダー学生の受け入れ
6. その他

まとめに代えて

* 梨花女子大学校・教授 (社会福祉学) / 大学校広報室長

** 武庫川女子大学教育学部・教授 / 教育研究所・研究員

はじめに：調査の目的と手続き

・調査目的

本調査研究は、2015-2019年度・科学研究費助成事業（基盤研究C）「女子大学の存立意義とサバイバルストラテジー：日本・アメリカ・韓国の比較研究」（15K04327）の一環として行われたものである。韓国で最も歴史が古く、威信の高い共学大学と伍すランキングを維持するトップの女子大学であり、文系だけでなく医学部や工学部といった理系学部も擁する総合大学である梨花女子大学（Ewha Womans University）¹において、韓国における女子大学の現状、梨花女子大学の強みや特徴的なカリキュラム、今実施しているプログラム、あるいは今後の戦略などについて尋ねることとした。

梨花女子大学はアメリカや日本の女子大学とは様々な点で異なる。学生規模において、日本では大きくて6,000～8,000名、アメリカでは3,000名に満たないが、梨花女子大学では学部生約15,000名、大学院生約5,000名、合計約20,000名（うち、外国人学生約2,200名）を擁する²。学部学生数だけではなく、大学院生数やその割合においても、日米の女子大学を圧倒する。さらに、学部構成においても社会科学学部（法学や経済学など）や理系学部（医学、薬学、工学など）も擁し、リベラル・アーツ中心のアメリカの女子大学や、人文系と家政系への偏りが大きい日本の女子大学とは大きく異なる総合大学である³。海外の大学との提携（約1,000校）や留学生の数もずば抜けて多く、世界の女子大学の中において、ある意味、特異な女子大学であるといえる。よって、これまでもよく取り上げられ、日本でも知られた存在である。急速に少子化が進む近年においても、様々な面でより積極的な経営を展開しており、女子大学研究において欠くことのできない大学として取り上げ、訪問して話を伺う計画を立てた。

今回の韓国の女子大学訪問に先立ち、これまで次のような下準備を行ってきた。一つは拙著論文「韓国における高等教育政策の動向と大学の現状」（『研究レポート』43号，53-88頁，2013年）の執筆、もう一つは本科研費で実施した韓国人留学生へのインタビューである（2016年実施…本科研『報告書』（2020）に掲載）。これらを通して、韓国の高等教育、女子大学等の歴史・現状についてはある程度の把握ができていた。さらに対象大学のHPや文献研究をもとに、女子大学の現状把握と存立意義、今後の女子教育の方向性やその戦略について質問項目を作成して準備を行った。

¹ 韓国の4年制大学は“大学校”と表記されるが、本論文では“大学”の表記とする。また、韓国において日本の学部に対応する組織は“College”と表記される（例えば、College of Liberal Arts）が、ここでも日本の表記にならない“学部”と訳すこととする。

² Study in Korea HPのEwha情報による（<http://studyinkorea.go.kr/en>）2019.3.5

³ QSが提供する“QS South Korea University Rankings 2019”によれば、KAIST（1位）、ソウル大学（2位）、高麗（3位）、延世（5位などに次いで、Ewhaは第9位に位置する。

（<https://www.topuniversities.com/university-rankings/rankings-by-location/south-korea/2019>）

・手続き

今回の調査においては、梨花女子大学と淑明女子大学（Sookmyung Women's University）の2校を調査対象として設定した。梨花女子大学については上記の理由からであり、もう1校の淑明女子大学は、梨花女子大学に次いで長い伝統を持つ女子大学であり、1906年に李王朝の純獻貴妃（高宗の後宮）によって設立された女子教育機関“明新女学校”を前身とする。それ故、この女子大学は国内における威信も高く、女子大学では梨花女子大学に次ぐ位置づけがなされている。学生数は学部生が約10,000名、大学院生も2,600名を数え、その規模においても梨花女子大学に次ぐ規模で、日本の女子大学を上回る。2010年には女子大学では初めて予備役将校訓練課程（ROTC：Reserve Officers' Training Corps）を設ける、2015年度には工学部を新設するなど、これまで女性の進出が少なかった分野にも積極的な進出を行っており、リーダーシップ教育やグローバル化に対して積極的に注力している女子大学である⁴。よってこの2女子大学に絞ってインタビュー調査を行う計画を立てた。

2018年12月、各学長宛に調査の目的とおおよその調査内容、相応しい人物の紹介を求めて手紙を送付した。梨花女子大学からは迅速に、学長室よりインタビュー受入れの返事をいただいた。その後、学長室のSuh氏を通じてメールのやり取りを行い、対応教員や日程の調査委を行った。淑明女子大学については、12月中に返事がいただけなかったため、1月にもう一度お願い文を送付したがまったく応答が得られなかったため、今回の訪問を諦めることとした⁵。

2019年2月初旬、英文で書いたインタビューのアウトラインをメールの添付ファイルで送付した。その上で、その質問に答えられる教職員の選定をお願いした。韓国の大学入学は3月であり、その準備や対応で多忙な時期と重なり、大きな負担をかけることとなった。3月初旬、こちらが送付したインタビューの質問項目に対して、丁寧な回答を韓国語で記したファイルが返送されてきた。インタビューに答えていただく際の準備として送付したものであるが、事前に貴重な意見と多くの情報をいただいた。その文面からは、回答内容について正確を期すため、複数人で確認がなされていることも読み取れた。この回答を主として書いたのは、インタビューに応じていただいたJongSerl CHUN教授（社会福祉学）であることが後に判明した。CHUN教授は梨花女子大学の卒業生であり、現在、広報室室長を兼務されているということで、最適のインタビュー対象者を得た。

⁴2018 Sookmyung Brochure English Ver.、淑明女子大学 HP (<http://www.sookmyung.ac.kr/sookmyungen/1321/subview.do>)、あるいは日本経済新聞記事「働き続ける未来 韓国女性を支援：淑明女子大学長に聞く」「淑明女子大学、軍人教育や起業専攻も」日本経済新聞（2016年12月21日朝刊）。

⁵2018年には日韓の元慰安婦を支援するための「和解・癒し財団」が一方的に解散され、元徴用工問題で韓国の最高裁が新日鉄住金に支払いを命じるなどしたため、日韓関係が急速に冷え込んだ時期であった。こうしたことが影響しているのかもしれない。

よって、韓国語での回答を安東が和訳して内容を理解したうえでインタビューに臨み(2019年3月14日)、送付した質問のアウトラインに沿いながら、補足・付加する形でインタビューを実施した(Main Hall 2階:206号室)。インタビューに際しては、提供していただける情報について正確を期すため、広報室のTeam HeadであるSoo Jung KIM氏が同席し、インタビュー時に情報の提供や事実関係のチェックをしていただいた。インタビューは韓国語で行われたため、通訳は鳩山京美さんをお願いした。鳩山さんは韓国の済州島出身で、日本での居住期間は長く、現在、大阪に在住している。本学大学院臨床教育学研究科修士課程において筆者の研究室で学び、修士論文を日本語で書いて修了しており、韓国語はもちろん日本語も堪能だということで、通訳を依頼した。これに加えて、インタビューの日本語への訳出、さらには事前質問への回答を安東が日本語訳した原稿についても、その内容について確認をお願いした。

今回の報告においては、事前質問として送付したインタビュー項目(番号を付している)のアウトラインに対して返送いただいた記述回答を訳出したものを軸に据え、インタビューで話された内容をアウトラインに沿って挟み込む形とした(罫線での囲みはインタビュー部分)。質問の骨子から多少外れる箇所もあるが、質問内容を膨らませるものになっている。その後、梨花女子大学でのインタビュー及び梨花に関して収集した諸資料を踏まえ、本調査を通じての成果と課題をまとめた。なお、事前質問への回答内容、あるいはインタビュー内容について、説明を加えた方がよいと判断した事柄については、できるだけ脚注を設けて情報を提示し、解説を加えた。この報告では、使用した引用・参考文献、ネット記事のアドレスは、全て脚注に示している。

韓国語から日本語への訳出において誤認、あるいは不適切な訳出箇所があれば、安東の責任である。

1. 韓国の女子大学についての質問

- 1) 韓国においては、約 220 大学のうち、女子大学は 7 校に過ぎません。全体から見て、女子大学にとって女子学生をリクルートすること厳しい状況でしょうか。今日の現状認識を教えてください。

2000 年代に入る前まで、今より 2 倍以上多い合計 15 の女子大学がありましたが、共学に転換されたり、共学大学に統合されたりして、現在 7 校だけが女子大学校として残っている状況です。共学大学が大部分を占めるようになるのは時代の流れと見ることができますが、共学大学と比べても優秀な女子大学校である梨花女子大学校の場合、相変らず全国から成績の優秀な女子生徒が入学を希望する大学であり続けています。優秀な女子生徒であるほど、女子大学に来てこそよりよい成果を出すことができると考えます。

安東 韓国における女子大学の現状をどう把握しておられるかお聞かせください。

Professor CHUN (以下、CHUN) 韓国には以前、15 の女子大学がありましたが、今は 7 つの女子大学だけを残して、全てが共学になってしまいました。

安東 残っている 7 大学のうちの、二つが、共学になるかも分からないと言っているわけですね。(共学化の動きについて書かれた韓国の英文新聞記事を提示した)

CHUN “誠信女子大学 (Sungshin)” と “徳成女子大学 (Duksung)” のことを話されているのだと思いますが、具体的な話はこちらでも確認しておりません。

- 2) 高等学校の女子生徒は、共学の大学を指向する傾向があると思いますか？

女性たちの大学進学率と就職率が高まり、1980 年代以降、男女共学大学を選ぶ(好む)女子生徒が増えたと見られます。

安東 韓国の女子高校生の大学進学志向はどうなっていますか。

CHUN 一般論として、時代の流れとともに最近の青少年、女子青少年は、共学に興味を持っていることが感じられます。女子は女子、男子は男子という考えが時代とともに薄れているとだと感じます。

安東 それはいつ頃からでしょうか。

CHUN 2000 年代に入ってからでしょうか、共学を望む傾向が感じられるようになりました。女子大生の間から、そのような声が出はじめました。

しかし、梨花女子大学に関しては、韓国の伝統的な名門校であり、全ての学生が

女性リーダーシップの獲得を目指して、梨花女子大学の美徳を誇りに入学してきているので、共学に関してはほとんどの学生は考えていないと思います。中には共学を望む学生がいるかも知れませんが、それは少数だと思います。(その実態は)把握をしてはいません。

本学の全ての学生は、しっかりした自分の考えを持って入学して来ます。「絶対にこの大学を卒業して、女性リーダーシップを手にする」という目標を持って入学して来ます。おそらく、他の6つの女子大学の学生らとは異なる志向を持っていると思います。アメリカでも、このような現状は一緒ではないでしょうか。

- 3) なぜ女子生徒たちは、女子大学に来るのだと思いますか。また、女子大学に来る女子生徒は女子大学に何を期待しているのだと思われますか。

女子大学を卒業した女性たちは、優れた成果を残し、在学中の満足度も高い方です。また女子大学は、女性たち同士で知的な共同体を形成し、リーダーになる経験、多様なロールモデルに出会う経験、教育を受け主体的に学習する経験など、これら全て経験できる場所であると期待しています。

梨花女子大学の場合、133年の伝統を通じて数多くの業績を最初に成し遂げ、(社会的に)最高の地位に就くといった歴史を保有している大学であり、他の大学と比較しにくい長所があります。

- 4) 今日の韓国において、女子大学の存在意義は何だと思われますか。

梨花女子大学に対しては、“世界中のどこにもない女子大学”という表現を使ったりします。133年前、女性が尊重されることがないという因襲の弊害がある中で、女性も男性と同等に教育しようとアメリカ宣教師スクラントン (Scranton) 女史が梨花学堂を設立し、韓国の地に勉学の種をまいて今の梨花女子大学になり、以後23万人に及ぶ数多くの同窓生を輩出してまいりました。梨花の教育は激動の大韓民国の歴史と女性史に数多くの足跡を残してきましたし、梨花固有の教育を受けた数多くの同窓生は韓国を越えて世界中で活躍しているのです。

2. 梨花女子大学の歴史と現状に関する質問

- 1) 梨花女子大学は韓国におけるトップ大学の一つであり、韓国だけではなく世界の女子大学の中で最も成功し女子大学です。第二次大戦後、多くの大学は共学となり、女子学生はこの四半世紀においては特に、共学大学を好む傾向にあります。このような状況下で、なぜ梨花女子大学はトップを維持できているとお考えですか。

世界最高水準の研究重点大学を目標に、大学、教授陣、学生の全てが、持続的な発展を繰り返しているためだと考えます。何より梨花は、総合大学として優秀な教育・研究のインフラを備え、時代の要求にマッチした教育を持続してきたとともに、女性リーダーを養成する教育を行ってきたという点が、他大学と差別化される点です。

安東 例えば、延世大学に行く女子学生と梨花に来る女子学生で、違いがあると思いますか。

CHUN 共学に行く学生は、ここでは体験できない異なった関係性、例えば男子学生と共に視野を広げたいといったことを求めて共学大学を考えるのではないのでしょうか。

特に、梨花女子大学に入学してくる女子は、梨花の伝統に従い、女性リーダーとして、韓国や世界で羽ばたきたいという目標を持って入学してきています。現状として、OGたちは、韓国をはじめとして世界で女性リーダーとして活躍しています。そうしたOGは、本学に入学してくる学生の大きな希望であり、目標なのです。

マスコミを通して話が出たと思いますが、ソウル大学といえば伝統的で有名な大学ではありますが、その大学の歴史の中で今までに重要な役割についた女性はたった3人しがないのですよ。それが、今年（2019年）度からソウル大学の工科大学（college）教授に、女性として史上初めて就任⁶したのが、梨花女子大学出身者です。今までは名門大学ゆえに、女性に与えられていた職は限られていたことがわかります。

その点も踏まえて、梨花女子大学は女性たちには進歩的な環境を提供して、より多くの女性たちが世界に進出できるようにしていますので、入学してくる学生たちは、先輩たちの後を継ぎたい、先輩たちのようになりたいとの思いをもって入学してきます。賢い女性たちはこの大学を選択して入学してきますよ（笑）。

安東 それには父母たちの影響は大きいですか

⁶後の脚注7にも出てくるが、ソウル大学では経済学や工学の分野において、これまで女性の教授がいなかったが、2018年に初めて女性の教授が就任するということが話題になっていた。

CHUN 父母の勧めは大きいです。こちらに入学してくる学生のほとんどは、OGである母親をもっておりますし、父母の勧めがすごく強いですね。

梨花は女子大学であっても、その決まり（規則）は、それほど厳しくありません。学校の決まりに拘束されないことで、学生たちはもちろん、父母たちも学校を信頼して、のびのびと上を見て羽ばたいているのです。上を見ると、先輩たちは女性リーダーとして、例えば病院の院長であるとか、大学の総長、警察署長にまできていますし、もっと先を見ますと、世界に進出して活躍している先輩たちが大勢いますので、父母たちもご自分の娘に夢を託しています。韓国の大企業に就職している女性のほとんどが梨花女子大出身であり、最近では国会議員、医学博士、検事、裁判官、警察の総長までが梨花女子大出身ですから、この大学に入学させたいと思う父母たちの影響は大きいです。

2) 他の女子大学と比較して、あるいは共学の威信の高い大学と比較して、梨花のセールスポイントは何であると考えますか。

いろいろありますが、研究における質の優秀さと優れた力量を持つ卒業生を挙げることができます。引用頻度上位10%の最優秀論文比率によって格付けされるランキングにおいて、5年連続国内1位の結果を誇ります。また、卒業生は韓国で最初の女性医師（박에스터／パク・エステル）、博士（김활란／キム・ファルラン）、警察署長（양한나／ヤン・ハンナ）、弁護士（이태영／イ・テヨン）、化学者（장혜원／チャン・ヘウォン）、物理学者（모혜정／モ・ヘジョン）、文教部長官（김옥길／キム・オクギル）等を代表的な人物として挙げることができます。このように社会に出て行き、第一線で活躍する優秀な同窓生が多いということが最も大きな強みです。

【※ 一つ前の質問で、梨花出身の輝かしい経歴をもつ先輩たちの話が出てきたが、それは学生の父母が梨花への進学を勧める理由という文脈で語られたものである。このトピックは、どちらの質問にも共通するものであり、梨花が有する他にはない特性である】

安東 CHUN 教授はアメリカのカリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）の大学院を修了されて、梨花に戻ってこられたのですね。

CHUN 梨花を卒業してからアメリカへ留学し、博士学位取得後、何年かはあちらで仕事に就きました。その後、帰ってきました。

安東 UCSF は共学大学であり、全米でもたいへん優秀な大学ですが、アメリカへの留

学経験も踏まえて、今、梨花女子大の特徴、長所をどのように捉えていますか。

事前のアンケートにもセリングポイントをいくつも書いてもらっていますが、やはり一番大きいのは何でしょうか。つまり他の共学大学にはない、梨花だけのプログラムなどはありますか。

CHUN 共学においてもあると思いますが、梨花の教養学のプログラムの内容です。アピールしなくても、これを取りなさいって義務付け、強制をしなくても、全ての学生が受けています。その中に“女性リーダーシップ開発院”などが置かれてあり、大学だけに特化して公開していないプログラムも多数あって、その点は他の学校にないプログラムだと思います。

- 3) もしあなたが女子生徒に梨花女子大学への進学を薦めるとして、女子大学としてのどのような点を強調されますか。他の威信ある共学大学、例えばソウル大学校や高麗大学、延世大学などと比べて、どのような違いがあると考えますか。

133年の伝統の中で蓄積したノウハウを基に女性人材を育成し、養成してきた梨花の教育力を挙げたいと思います。他の優秀な共学大学とは異なり、女性が教育の中心となり、リーダーになることができるように教育を行っています。特に女性が過小評価されてきた科学および工学分野への支援を強化する一方、第4次産業革命の時代を迎えた今日、女性としての長所を生かした異分野融合の人材養成にも努めています。

このように梨花のすべての教育は、女性リーダーを養成することに収斂します。

- 4) 梨花を卒業するとき、学生たちは女子大学の良さや優れた点、利点を理解していると思われませんか。

在学中、1学年より4学年の学生の方が、(大学に対する)満足度が高いと多くの学生たちが語っています。また、在学中より卒業後において、大学への満足度がさらに高まるようです。卒業して社会に出て行けば23万人の梨花同窓ネットワークがあり、同窓生の力を実感することになるのです。

- 5) 日本やアメリカの女子大学においては、技術系や社会科学系の学部をあまりもっていません。なぜ梨花はそのような学部を設立したのですか。そうした学部を設立した際、女子高校生に十分な需要はありましたか。

梨花女子大は1950年に法科大学（College：学部）、1996年には世界最初となる女性のための工科大学と社会科学大学を開設しました。大学設立初期には人文学専攻中心でしたが、今では社会科学、自然科学、工学、法学、医学、看護学、薬学などほとんどすべての専攻を備えることになりました。特に自然科学大学、工科大学、医学課（Department）などで（入試において）多くの優秀な理工系女子学生を選抜しており、毎年高い競争率を誇っています。

工科大学の場合、入学定員を基準としてみると、全体で14ある大学（college：学部）のうち、最も大きな単科大学になりました。梨花はこのように、女性がこれまで過小評価されてきた自然科学や工学の分野で、女性がさらに力を発揮することができるよう準備してきましたし、今後、このことが未来への学問の原動力になると考えています。

安東 1996年に女子大学で初めて工学部を創設するなど、STEM（Science, Technology, Engineering, and Mathematics）と呼ばれる学問分野を充実させようとしています。このように女性が今まであまり進んでこなかった分野に着目したのは、大学として女性の理系進出の重要性を意識し、これから女性にそちらの分野に進出してもらおうとして舵を切ったのでしょうか。あるいは、進学してくる女子学生たちからの要望がそちらに変化してきたということがあるのでしょうか。

CHUN 梨花女子大学は韓国最初の総合大学です。しかしながら、以前は「人文学（社会人文学）」に重点をおいていましたが、1996年度に工科大学（学部）を設立しました。それは学生の要望からではなく、時代の流れ、時代的な要求によるものですね。未来のための大学の選択でした。

1990年代に入ってから、科学と技術の重要性が強調されるようになったこともあって、時代的、社会的な欲求からこの学部が作られました。特に、1990年代には「第4次産業革命」の時代に入り、科学の知識の必要性が問われるようになったことが、決定的な要因になっています。

この大学には14学部がありますが、その中で一番大きい学部が工学部です。今、大学側も一番力を入れているのがこの学部です。これまで、この学部（学問領域）に関しては、「女性は立ち入りできない」と除外されてきたことに、本学の学長は目を向けたのです。「今、女性の人材が一番必要とされている部門は科学であ

る」と。

それを直感させてくれるのが、今年ソウル大学で任命された女性初の工科大学教授の誕生です。今こそ、女性たちが進出する部門は、工科（エンジニアリング）であることを踏まえ、（それを身につけた）学生の養成に力を入れようとこの学部を誕生させたわけです⁷。

安東 このエンジニアリングの内容は、主にコンピューターでしょうか。

CHUN いいえ、その対象、スケールはとても広いものです。この学部（College）に関する冊子（案内書）があります。この学部には沢山のプログラムがあり、建築工学、環境工学、サイバー工学を初めとして多種多様なプログラムを提供しています。

安東 梨花では工学系の学部卒業生がなかった中、どのようにして工学系の教授を集められたのですか。

CHUN 工学科の設立の話がでた時には、外国の教授たちを初めとして、外国に勤務されていた教授も梨花女子大学に戻りたいとの要望が多くて、むしろこちらで教員選びをして、とても優れた教員を迎えることができました。

安東 教授の中には、外国人教授は何パーセントほどでしょうか。

CHUN 外国の国籍を持った教授陣は6パーセントです。本学には全体で教授が1,000人いますので、外国籍の教授は約60人います。その中でも物理学科には、あの有名なノーベル物理学賞受賞者である Smoot（George Fitzgerald Smoot III）教授⁸を招いて、研究と教育をしています。

6) 2000年より以前、女子高校生は工学や社会科学の分野に進学することを避ける傾向がありましたが、そのような中、なぜ梨花は女子学生を集めることができたのでしょうか。梨花はどのようにして女子高校生に工学や社会科学の分野に目を向けさせたのですか。

梨花女子大学は、設立の翌年、1887年に韓国最初の女性専門病院“保救女館（ポ

⁷ソウル大学のHPには、2018年9月4日付で、2018次のようなタイトルの情報が掲載された。これまでソウル大学工学部には女性教授はおらず、初めての採用となった。“Department of Electrical and Computer Engineering Hires First Female Professors” (<http://www.useoul.edu/snunews?bm=v&bbsidx=125527>)

⁸2006年“宇宙マイクロ波背景放射の異方性の発見”によりノーベル物理学賞を受賞し、2008年より Ewha が創設した Institute for the Early Universe の所長に就任した。“Smoot a visiting scholar at Ewha Womans University.” (http://www.ewha.kr/ewha/ewhaNews/en_view.jsp) 及び (https://www.berkeley.edu/news/media/releases/2008/12/10_ewah.shtml)

グヨグァン) ”を設立し、さらに 1960 年代には韓国最初の女性化学者と物理学者を輩出したように、早い段階から理工系学問分野の発展に注力してきました。女子学生は、梨花が優秀な理工系の教育を提供するという事実を知り、その分野にたくさんの支援をしていただいたことで、今の発展を成し遂げることになったと考えます。梨花女子大学は常に女性教育の新しい道を先導してきたのです。

3. カリキュラムとリーダーシップ・プログラム

1) 梨花女子大のカリキュラムの特徴的な点、核心は何だと思われますか。

14 の単科大学 (学部)、73 の学科 / 専攻で学生 1 人 1 人を大切にして各自の固有な価値を育てて人材に育てるという教育精神を土台にしています。(他者を) リードし、賢く、実践することができる人材の育成を (梨花の) “人材像” として確立し、本校の教育目的である進取的学問研究、健全な人格および教養、積極的実践と奉仕の価値を実践しています。

安東 これから梨花女子大学が実施しようと思っている大きな構想は何かありますか。
答えられる範囲でお願いします。

CHUN これから力を入れようとしていることとしては、私どもの学校では、“融合” をとても重要視しています。これから近未来の社会において必要となってくる人材は、人文・社会科学を土台としながら、理系と文系の知識を融合的に活用して、最先端の科学を駆使ができる者であり、そのような人材を育成することに、とても力を入れています。今までの境界を崩して、融合専攻科をおいています。その科の内容も専攻した学生たちがカリキュラムを組んでそれを設計できるようにしてありますので、学生たちはそれに従って学習を進めています⁹。

安東 自分たちで主体的にカリキュラムを組んで学んでいく、大胆な試みをされているのですね。成果が楽しみです。

⁹ The HOKMA College of General Education が 2015 年に設立された。これは未来志向の一般教育の提供を目的としたものである。今日解決が求められている様々な主題を領域横断的に学び、将来のリーダーとなるべく、融合と調和の精神の育成を目指している “foster a spirit of collaboration and harmony”。

(<https://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/hokma.don>)

2007 年には創設者 Mary F. Scranton の名前を冠した Scranton College を開設している。これは今後の知識基盤社会において世界で活躍できる専門職の養成を目指しており、重要な複数の領域にまたがる課題を追求する学際的プログラム (Interdisciplinary Program) を特徴とする。

2) 履修が義務付けられている特別な授業はありますか。それは何ですか。

梨花女子大学の学生は、必ず受講しなければならないチャペル（礼拝）と教養必須科目を挙げることができます。まず梨花女子大学の学部生は学則に基づいて、必ず8学期間のチャペルの科目を履修しなければなりません。チャペルは梨花の伝統であり、構成員の和合（融合）と団結を確かめる共同体意識の育成、さらには梨花人にとって建学理念であるキリスト教精神を継承して内面化し、成熟した人格と倫理意識を備えた指導者に成長するよう支援をしています。また、教養必修科目で<キリスト教と世界>、<シェア・リーダーシップ>、<韓国語とライティング>、<古典読解とライティング>などが設定され、在学生に対しては“仕える（serve）”ということと“シェアする（share）”という梨花精神を共有して、人文学的教養を備えた第4次産業革命時代に適合した知識人を育てています。【※返信された事前質問への回答には、「融合技術も必修ではないですか」とも書かれていた。CHUN 教授の回答を確認した上で、他の教員が書き込んだコメントだと思われる。】

3) 授業の何パーセントが英語で教えられていますか。

2019年1学期における英語での開設講義数は、2853中の546で、19.1%になります。

安東 工学や物理学などの理系分野では、英語の授業が多いのですか。どのくらいの割合で英語の授業が行われていますか。

CHUN 理系に限らず、大学全体では20パーセントが英語での講義をしています。外国の教授は英語だけで授業を行っています。

4-1) 梨花は多くの魅力的なプログラムを提供しており、その一つはリーダーシップ・プログラムであると思います。1997年に女性リーダーシップ開発センター（Center for Women's Leadership Development）が設立されて以来、様々なプログラムを開発し、学生とその他の女性に提供してきました。今日のプログラム内容とその活動の成果を教えてください。

梨花リーダーシップ開発センターは国内最初の女性を対象とするリーダー養成教育機関として、梨花女子大学校の女性教育経験と学問的成果を社会に還元して、時代に応じた女性リーダーを育成しようと2003年に設立されました。“女性は有効な資源であり、グローバル時代を導いていく新しい価値をもつ”という信念と、女性の潜在力

表1. 梨花リーダーシップ開発院の女性リーダー養成教育課程の紹介

区分	課程名	教育概要
企業女性リーダー養成課程	梨花リーダーシップ正規課程	組織内女性リーダーとしての自分理解および力量開発のためのリーダーシップ教育課程
	コーチングリーダーシップ課程	韓国コーチ協会コーチ資格取得のためのコーチ型
	三星生命 W リーダーシップ課程	企業所属女性のグローバル職務力及びリーダーシップ力向上
	その他・企業所属女性のための特別課程	他機関から委託教育を依頼受けて実施するオーダーメイド型職務教育課程（公職/企業/地域・市民社会/中核技術過程）パートナーシップ教育
地域およびNGO女性リーダー養成課程	梨花-西大門女性リーダーシップ課程	地域均等発展と地域活動女性リーダーのリーダーシップ力量強化
	梨花-NGO女性活動家リーダーシップ教育	グローバル時代の生活政治と女性の人生、NGOと女性リーダーシップ力量向上
その他リーダーシップ教育	ソウル市自由市民大学	女性人文学他ソウル市民の生涯学習権保障および自主的で参加的な人生のためのリーダーシップ教育
	全国障害大学生次世代リーダーシップアカデミ（～2014）	障害をもつ大学生の自尊感情形成とジェンダー統合的リーダーシップ力量育成
グローバル・リーダーシップ事業	梨花-ルース（Luce）国際セミナー：地平を広げる	Luce財団の支援を受け、大学院生を対象にしたグローバルな理系の女性リーダーの育成
	梨花-お茶の水大学グローバル・リーダーシップ指標共同研究開発	アジア女性リーダーシップ指標開発のための共同研究（*1）
	スクラントン（Scranton）梨花リーダーシップ・プログラム	アジア地域スクレントン奨学生および梨花の在學生を対象に全人的教育を基盤としたアジアの女性リーダー養成プログラム（2019年予定）
	その他のグローバル女性リーダーシップ・プログラム	・2018 W20 Talk Concert：両性平等のための女性グローバル・リーダーシップ強化／・タイ幼稚園長・学校長研修プログラム（2018～）／・シンガポール SMU グローバルリーダー養成 PG／・（出版）隠された科学史の中の女性
研究、出版、ネットワーキング	ジェンダーフォーラム	各分野専門家グループ50人の会員制で運営（教授、弁護士、医師、人権活動家、芸術家等）しながら女性リーダーシップ関連の主要イシューを議論
	「フェミニズム、リーダーシップをデザインする」（2017.1 発刊）	
	女性企業役員が集いWIN運営支援と連帯	
	その他女性主義（*2）リーダーシップ研究及びプログラム開発	

*1 お茶の水女子大学のグローバル・リーダーシップ研究所は、梨花のリーダーシップ開発院と共同し、2018年9月より始められた。

*2 特化領域：女性人文学（女性主義的観点での二者択一価値を再照明してみる主題で構成）

に対する深い信頼を基に、“韓国を動かす女性リーダー 100 万人養成”という使命が与えられています。

女性リーダー 100 万人養成は、“100 万”という象徴的な数字を使い、多くの女性たちがリーダーシップの訓練とネットワーキングの拡大を通じて、個別的あるいは集団的に真のリーダーとしての潜在力を発現させることに目標を置いています。

このようなビジョンを掲げ、梨花リーダーシップ開発センターは女性リーダーシップの学問的な体系化と、専門教育を通じた女性リーダーの育成に特化して成果を挙げてきました。研究を通じて女性リーダーシップの理論的接近および中核となる技術モデルを開発する一方、教育機関として国内外 100 余りの企業および機関の女性たちをリーダーとして訓練してきました。市民社会および地域活動家養成の中心になっていると同時に、輸出入企業の職員教育を委託運営し、人材開発に寄与しています。

4-2) 全学生の何パーセントがリーダーシップ・プログラムを履修していますか。

梨花リーダーシップ開発院のリーダーシップ・プログラムは学生でなく、公務員や企業、地域、市民社会などの女性リーダーを主な対象にしており、1年間で教育を受ける学生数は約 200 人に上ります。「梨花ールズ国際セミナー：地平を広げる」の場合、韓国を含んだアジアとアメリカの理工系女性大学院生を対象にしており、毎年 22～24 人の学生たちが選抜されて参加しています。

5-1) 梨花の国際プログラムは豊富で内容豊かです。何パーセントくらいの学部生が卒業するまでに海外留学を経験しますか。

年間約 1,000 人の学生たちが約 30 ヶ国で修学しています。

安東 梨花は世界中の多くの大学と交換留学の提携を結び、留学を奨励されておられます。学生たちは卒業するまでに何パーセントくらいが留学するのでしょうか。

CHUN 何パーセントいるかという数字は把握できていませんが、この大学には他大学にはない多様な“国際化プログラム”が生まれ、毎年交換留学生だけ 1,000 名ほどおり、30 パーセントは交換留学生として、入学してきます。

安東 卒業するまでに 30 パーセントは留学をしていますね。

CHUN 梨花は（韓国の大学では）唯一、アメリカのハーバード大学とエクステンジ・サマープログラム（Exchange Summer Program）を組んでいます。男性も参加が可能で、このプログラムには沢山の参加者がいます。ほとんどの参加者がこの伝統的な梨花女子大学に興味を持って、留学してきています。男子の留学生は何

パーセントいるかまでは把握できていませんが、沢山います。世界的にこの学校は有名になっているので、そこに着目して興味を持ってくれた男子学生たちです。

安東 エクスチェンジ（交換留学）を行う際には、女子大学では対象者が女性に限られ、少なくなりますね。やはり、男性を受け入れざるを得ないのですか。

CHUN オープンで、どちらでもいということなので、限定しないで受け入れていきます。パートナーシップにおいて、交換対象の大学との交換留学の契約において、男女を制限するという項目はないので、沢山の男子学生も受け入れているのです。

5-2) 何名の留学生が梨花で学んでいますか。その割合は全学生の何パーセントですか。

年間約 1,600 人、80 余ヶ国の出身学生たちが本校で学士、修士、博士の学位課程に在籍しています（全体の約 7 %、2018.10.1. 現在）。基準本校外国人学位課程在籍生 76 ヶ国 1,665 人 /23,400 人 = 7.1%）となっています。

安東 梨花は本当に多くの大学とパートナーシップを結んでいますね。

CHUN 80 カ国、約 1,000 校の大学とパートナーシップを結んでいます。その点においても、この大学は、韓国でも最も国際化が進んだ大学であると言えます。その点を評価して、梨花女子大学を選択している学生も少なくありません。

安東 外国に留学するために、既に約 1,000 校の選択肢があるのですが、これからも留学生を増やすつもりでしょう。大学の戦略として、留学生をどのように位置付けていますか。

CHUN 韓国も少子化時代に入っていますので、いろいろな国から沢山の留学生を受け入れるつもりです。グローバル化のための取組みとして、世界のいろいろな国の学生を広く受け入れています。ここ（梨花や韓国）にはない世界のことをいろいろ取り入れるためにも、男女問わず交換留学生をオープンにしています。こうした取り組みは、梨花だけではなく、多くの大学が、取り組むようになってきています。

安東 そういう外国の学生向けのプログラムは英語だけのプログラムになっていますか。他のものがあるとすればどのようなものでしょう。

CHUN 二通り取り入れています。グローバル・プログラムで英語だけとする方法と、あとは韓国語で行う方法です。中には中国からの学生も大勢いますが、カリキュラムは二通りしかありません。留学生たちは語学が未熟であり、まずは、語学を教えるから、授業を受けやすくしています。

4. 外国人学生と非伝統学生のリクルート

梨花女子大学にとって、外国の有能な女子学生をリクルートすることは重要な課題であり、戦略であると考えます。

1) どのようにして外国人学生をリクルートしていますか。留学生の目標数を設定していますか。外国人学生リクルートの戦略を教えてください。

梨花女子大学は留学生を募集し、全世界の優秀な女性指導者を育成して同窓ネットワークを世界に拡大しています。有能な学生たちを募集するため、梨花では様々な国の名門高等学校や大学を直接訪問するとともに、韓国教育博覧会に参加しています。

安東 梨花では、直接、外国の高校で学生をリクルートしているのですね。

CHUN はい。EGPP プログラム (Ewha Global Partnership Program) があります。そのプログラムでは、発展途上国、アフリカとか東南アジアにおいて、優秀な女子高校生を選抜し、費用全額の奨学金を提供します。宿舍の代金も食費もすべて提供して教育を提供し、その国のための女性リーダーとして活躍できるようしようという、梨花独自のカリキュラムを利用して、外国の高校で女子生徒をリクルートしています¹⁰。

安東 多くの留学生が入学してきており、また留学に行きたいという学生もたくさんいると思います。それを支えるためには奨学金の充実が必要で重要になってくると思っています。大学独自の奨学金はどのようにして充実させていますか。

CHUN 奨学金制度を通して政府からの援助もありますし、多くのOGたちからの援助が大きいです。その上、有名企業や財団からも「奨学生のために使いなさい」ということでたくさんの援助があります。特にサムソン電子からは、梨花女子大学独自のカリキュラムに対する支援があり、その貢献は大きいです。

安東 アメリカの女子大学、例えば私が訪れたスミス・カレッジであれば、ファンドライジング (募金) のキャンペーンを実施し、多額の寄付を集めており、それを利用して留学生や学生の奨学金としたり、教育や施設の充実に利用したりするなどしています。梨花はクリスチアンの学校でもありますから、そのキリスト教団の精神も反映しての寄付なども多いのでしょうか。

¹⁰例えば、発展途上国の女子生徒ヘスカラシップを提供するという梨花のプログラムが、次のようなサイトにも、登録・掲載されている。HeySuccess HP (<https://www.heysuccess.com/opportunity/Scholarships-for-International-Students-Ewha-Womans-University-23848>)、Scholars Hub Africa HP (<https://www.scholarshubafrika.com/36689/global-partnership-programme-scholarship-ewha-womans-university-south-korea/>) など。

CHUN クリスマンとはいえ、この教団はメソジスト (Methodist) 派なので、その精神はかならずしも他の宗派と一緒にとは言えません。もともとこの学壇 (梨花) は、アメリカ人の宣教師が、最初に韓国の女性たちを集めて教育しながら作られた団体ですので、「(恩恵を) 受けたら社会に還元する」という精神が梨花には備わっており、その精神が今日に受け継がれているのであって、クリスマン一般の精神とは違いがあると思います。

安東 寄付するとき、使い道を指定してくるのでしょうか。

CHUN 厳密に言うと、寄付する側から「これに使いなさい、あれに使いなさい」と口は出しません。先にもお話しましたが、こちらは教団ではなく、「(恩恵を) 受けたら (社会に) 還元する」というメソジストの精神を受け継いでいます。以心伝心の精神なので、いちいち使い道を指摘して寄付をすることはしてきていません。

本学では教団とは関係なく「梨花学堂」という梨花独自の学校財団を持っています。そのメンバーは理事たちになります。韓国には「教育法」があり、その法に従って分配していきます。政府の援助金や寄付金、学生たちから納めてもらった学費などは全て学校のために使われるのであり、財団のために使われることは全くありません。理事会とは言っても、教育法に従わない分配はできません。

- 2) 少子化が徐々に進行する状況下で、非伝統学生は韓国や日本の大学にとってもう一つのターゲットです。今日、何人の非伝統学生が入学していますか？梨花は非伝統学生の割合を増加させる計画はありますか。

正規課程でない生涯教育院を簡単に紹介すればどうでしょうか¹¹。

5. トランスジェンダー学生の受け入れ

- 1) 現在、梨花女子大はトランスジェンダー学生を受け入れていますか。

していません。住民登録上の女性だけが入学可能となっています。

- 2) もし受け入れていないのであれば、梨花はトランスジェンダー学生の受け入れを議論

¹¹質問内容が悪かったのか、意図が伝わっていないようである。おそらく、アメリカの一部の女子大学のように、社会人を大学経営の一つの柱として据える必要性が梨花にはないと思われる。社会人へのサービスとして、梨花女子大学は Global School of Continuing Education という社会人向けのプログラムを開設している。(http://sce.ewha.ac.kr)

し始めていますか。

まだ具体的に議論されていません。

- 3) 梨花はトランスジェンダー学生のための特別な支援策をもっていますか。もし持っておられるならば、それはどのようなものですか。

行っていません。

- 4) トランスジェンダー学生の受け入れで、何か困難なことはありますか。もしあるならばそれは为什么呢？その困難をどのようにして対処しようとしていますか。

議論されたことがありません。

安東 トランスジェンダーの学生の受け入れについて伺います。日本では今、津田塾大学や日本女子大学、お茶の水女子大学といった女子大学が男性から女性へのトランスジェンダー・パーソンを受け入れるかどうか、いろいろ議論をしています。予め答えていただいた事前質問においては、梨花では全く考えていないということでした。

CHUN 韓国の社会においては、未だ、それについての議論をする段階までには達していません。ジェンダーという言葉を外来語として聞いたことはありますが、社会のトレンドではないので、それに関しては大学側も考えたことはないですね。韓国の思想として、それを受け入れられる社会ではないのが、現状ではないでしょうか。その点、日本はオープンなのかも知れませんね。

安東 しかし、学生の中に、女性というアイデンティティをもつことに違和感を覚えるというふうな人はいませんか。私たちの大学でも少なからずいるようですが。

CHUN (漏れ聞こえてくる) 話の中では、レズビアンの話などはありますが、実際それを把握したことはありませんし、明るみに出した学生もいないので、大学側とすれば、それに関しては何の問題視もしていない状況ですし、考えたこともありません。

韓国全体が、そのようなことを明るみに出せる社会ではないので、実態を把握することは難しいですね。もちろん、若者が集まる場所なので、ないとは言えませんが、行政における決まりはありません。噂として聞こえてくる話の中には、少数ではではありますが、そのような関係を持っている学生はいるようです。自分たちで

仲間を組んでクラブ活動もしていますが、それは自由であって、それを止める人もいませんし、法律的にも行政的にも取り締まることはありません。そうした状況をなかなか受け入れられない社会ではありますが、自分の立場を出したい人は、出していますね。

安東 自分の性的アイデンティティに悩んで、例えば女性トイレを使いたくないという人もいます。そういう学生に対するサポートはありますか。

事務局 (KIM) 本学に入学してくる学生は、ほとんどが女性リーダーとして成長したと思います、その学びの場としてここに入学するので、女性であることがいやだとか、拒否するような学生は来ないと思います。ですから、先ほど言われたような問題はここでは起きていません。他大学についてはわかりませんが。

6. その他

安東 最後の質問です。今から、日本と同様、韓国も少子化が急速に進んでいきます。こうした中、例えば、早稲田大学は、今、学部学生が4万人以上いるのですけれども、今のままでは、学生の質が保てないということで、今後は入学する学生の質を保つために定員を絞っていくようです。梨花は院生を含め2万人ほどの学生が在籍しており、人数が多いのですが、これから梨花はどのような展望をおもちですか。

CHUN 少子化問題は、全世界的に起こっている現象ですね。日本もそうでしょうが、韓国はもっと深刻です。今や特殊出生率は1名にも到達せず、0.8名だそうです。少子化に伴い、本学でも志願者は減っていくとは思いますが、今のところ問題視はしていません。地方にあるあまり有名ではない大学は、定員割れに悩んでおり、学校を閉じる場所もあると聞いていますが、ソウルにある有名大学は、倍率も競争率も高いにもかかわらず、そうした大学に入ろうとする学生は多いですから、大丈夫だと思っています。特に本学は、これまでの伝統を守りながら、積み上げてきた実績にその強みがあります。

(以上、事前質問項目への回答とインタビューの日本語訳)



Ewha Campus Complex (2008 年完成)
最大の地下キャンパスで、Ewha のランドマーク



Pfeiffer Hall (Ewha Main Hall)
1935 年の新村移転時に建設

(2019 年 3 月 13 日撮影)

まとめに代えて

梨花女子大学の Chun 教授には、アンケート及びインタビューに対して、とても丁寧に答えていただき、広報室の Kim さんには正確な情報を提示していただいた。今回のインタビューを通じて、さらに図書館をはじめ学生寮や地下キャンパスなど（全体のほんの一部である）の見学を通じて筆者が抱いた印象は、Chun 教授がインタビューで話された言葉通り、“世界中のどこにもない女子大学”ということである。学部学生規模（約 15,000 名）、大学院生数及びその比率（5,300 名、大学院生比率 26.4%）¹²、学問領域の範囲（人文、社会、理・工、医・薬など…14 学部、73 学科、14 研究科〈2018 年 10 月時点〉）、卒業生の量と質（227,000 名の卒業生〈2018 年 10 月〉とその活躍）、海外提携大学数（81 ヶ国の 994 大学・機関）など¹³、これに比肩する女子大学は他にはない。

さらに、1886 年に韓国初の女性のための近代教育機関として設立され、1910 年には韓国初の女性の高等教育機関となるなど、女子への教育が重視されない時代的・社会的状況の中で、近代以降の韓国における女性教育のパイオニアとして常に先頭を走ってきた実績と自負が感じられた。梨花出身のパイオニア女性の実例は、事前の質問への回答の中で何人もの卒業生の名前が挙げられた（裁判官、行政官、医者、学者等）。またインタビューでは、2019 年の春学期から、国立ソウル大学工学部の中で最も規模の大きな電子・コンピュータエンジニア学科の教授として初めて女性が就任することとなり、その研究者が梨花の出身であるとの話も語られた。最も威信ある国立ソウル大学の創設 72 年の歴史の中で、初の女性教授就任ということで、当時、韓国では大きなトピックであった¹⁴。日本同様、女性の社会進出が遅れている韓国社会の中で¹⁵、今日においても女性のパイオニアたらんとしている。大学の組織やプログラムにおいても、韓国で最初に梨花が創設し、認可されたものが数多くある（表 2 参照）。例えば、WW II 後すぐに医学や薬学の部門を創設し、1946 年には政府によって最初に大学校として認可され、1950 年には女性の大学院を、1996 年には女子のみの工学部と法学部を設ける、2000 年代以降は発展途上国の女性援助プログラムを始めるなど、今日に至るまで積極果敢にパイオニアとしての挑戦を続けている。

¹²梨花女子大学 HP 2019 年 10 月時点 (<https://www.ewha.ac.kr/ewhaen/intro/statistics.do>)

¹³数字は、2018 年秋発行の梨花女子大学校リーフレットより（2018 年 10 月時点の統計）

¹⁴ソウル大学 HP の 2018 年 9 月 4 日付のニュースリリース “Department of Electrical and Computer Engineering Hires First Female Professors” (<https://useoul.edu/snunews?bm=v&bbsidx=125527&page=5>)。また、同じソウル大学の経済学部においても、2018 年の秋学期から 1946 年の学科創設以来はじめて女性の教授が誕生するというトピックが取り上げられた。Korea Times HP 2018 年 5 月 18 日付のニュース Kim Hyum-bin, “SNU to appoint 1st female economics professor” (https://www.koreatimes.co.kr/www/nation/2018/05/181_248644.html)。この女性教授が梨花の卒業生かどうかは不明。

¹⁵World Economic Forum が発表する Gender Gap 指数で、153 カ国中、韓国は 2019 年 -108 位（2018 年 -115 位）、日本は 2019 年 -121 位（2018 年 -110 位）と低位にある。（http://www3.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2020.pdf）

表2. Ewha's First Achievements that Transformed Korea

1886	Korea's first modern education institute for women (Ewha, Haktang) 初の女子近代教育
1887	Korea's first women only hospital (Pogoonyogoan) 初の女子のみの病院
1903	Korea's first nursing education course 初の看護師教育
1910	Korea's first higher education courses for women (College courses) 初の女子高等教育
1914	Korea's first professional kindergarten educational institution 初の幼稚園教諭教育機関
1915	Korea's first private professional teacher training institution 初の私立師範学校
1925	Korea's first music department 初の音楽学科
1929	Korea's first home economics department 初の家政学科
1945	Korea's first medical division, pharmacy, fine arts, and physical education departments for female students 初の女子の医学、薬学、美術、身体教育の学科
1946	Korea's first university to receive government accreditation 初の政府認定大学校
1947	Korea's first Christian social welfare department 初のキリスト教社会福祉学科
1950	Korea's first graduate school for women 初の女子の大学院
1951	Korea's first private college of education (Korea's only comprehensive teacher training institution) 初の私立大学校教育学部
1955	Korea's first nursing department 初の看護学科
1963	Korea's first dance department 初の舞踏学科
1967	Korea's first private university with a graduate school of education 初の私立教育大学院
1969	Korea's first natural history museum 初の自然史博物館
1970	Korea's first business education program (Ewha Executive Management Program) 初の経営学教育プログラム
1971	Korea's first international summer college (summer school) 初の国際サマースクール
1977	Asia's first women's studies course 初の女性学コース
1982	Korea's first women's studies and Korean studies departments 初の女性学科と韓国学科
1984	Korea's first university with a School of Continuing Education 初の生涯教育学部をもつ大学
1993	Korea's first graduate school of social welfare 初の社会福祉学の大学院
1996	World's first women-only colleges for engineering and law 初の女子のみの工学部と法学部
2001	Korea's first International Studies major under the Division of International Studies 初の国際学主専攻
2006	Korea's first bachelor's, master's and doctoral degree courses and full scholarship programs for women from developing countries (EGPP) 発展途上国の女性への奨学金付プログラム(修士・博士)
2007	Korea's first open-major program (Scranton Honors Program) and Scranton College
2010	World's first women-only university to earn AACSB accreditation in all areas of the business curriculum ビジネスカリキュラムの全てに AACSB による認定 (ビジネススクール)
2011	Korea's first university host and R&D center of a global company (Solvay)
2012	Korea's first university with a non-degree program for non-governmental women activists from Asia and Africa (EGEP) アジア・アフリカの非政府の女性活動家へのプログラム Korea's first university with an overseas social welfare center (Cambodia)
2013	Korea's first field-specific translation and interpretation program
2015	Korea's first university division with a brain and cognitive sciences major

出典：梨花女子大学校 (2018 Fall). "TOGETHER TOMORROW EWHA." (Leaflet)

このパイオニアとしての自負は、学生への教育期待にも表れている。その一つとして、今回インタビューを受けていただいた Chun 教授がそうであったように、優秀な学生を海外の一流大学院に送り出して研鑽を積みさせている。Chun 教授の場合、梨花女子大学を卒業後、UCSF (カリフォルニア大学サンフランシスコ校) の大学院に進学して研鑽を積み、現地で職を得て働いた後、帰国されて母校の教授とされている。筆者がアメリカの

ジョージ・ワシントン大学大学院の客員研究員であった時、同じ立場で淑明女子大学から来ておられた教授は、梨花卒業後、ニューヨークのコロンビア大学大学院で学位を取得し、母国に戻られたとのことであった。梨花からどれくらいの割合で海外の大学院へ進学しているかの具体的なデータはないが、筆者の見聞する範囲においては、高度な英語力を身につけ、海外の一流大学院へと進んでいる者が少なくないようである。富裕な社会階層出身者が多いということでもあろうが、学部教育レベルの高さ、さらには梨花女子大学の目指す教育方針の賜物でもある。

・特色ある取り組み

様々な取り組みがなされているが、近年、梨花が特に力を入れていると思われる取り組みとして、三つを取り上げて紹介する。

一つはリーダーシップ教育プログラムの充実である。インタビューの中で Chun 教授は、梨花の学生は、「リーダーシップの獲得を目指して」、あるいは「この大学を卒業して、女性リーダーシップを手にする」との目標をもって入学してくると強調されていた。梨花はそれだけ、学部学生のリクルートに際しても教育におけるリーダーシップ育成をアピールしているのである。また、学部学生に対しては、「シェア・リーダーシップ (Share Leadership)」を教養必修科目とするなど、梨花の理念である“仕える (serve)” ことと “シェアする (share)” ことを具現するための中心的な課題としてリーダーシップを位置づけている。梨花の教育を通して連綿と引き継がれてきたものである。1977年に女性学コースを提供する Center for Women's Studies が設立され、1995年には Korea Women's Institute に再組織化された。さらには、1997年に The Women Leadership Development Center (政策科学大学院の補助的機関として)¹⁶ を、さらに 2003年には The Ewha Institute for Leadership Development (重要分野における女性のためのコースプログラムを提供するもの) を設立している。近年においては、“女性リーダー 100 万人養成” といった少しセンセーショナルな目標を意図的に掲げ、学生のみならず、自国の企業や諸機関に所属している女性、さらには発展途上国の諸機関の職員や研究者を対象としたプログラムを提供している。事前質問の回答に付与されていたリーダーシッププログラムの一覧表 (表 1) にあるように、様々な対象 (企業や諸機関、研究者、地域や NGO など) に対し、各種のリーダーシップ教育を実行しており、その人材とプログラム、知識の増強と蓄積が着実に行われている。将来に向けての大きな投資である。

次に、留学生のより積極的なリクルート、発展途上国の女性への修学支援の拡充を挙げ

¹⁶Pilwha, Chang (2012). Women's Studies in Korea, Asia. In Katjasungkana, N. & Wieringa, S.E. (Eds.). *The Future of Asian Feminism*. Cambridge Scholars Publishing, pp.58-78.

ることができる。先の表2¹⁷にもあるように、2006年にEGPP (Ewha Global Partnership Program)、2012年にはEGEP (Ewha Global Empowerment Program) などのプログラム¹⁸を開始し、アジアやアフリカなど発展途上国の女子学生への修学支援、さらには途上国の女性活動家のためのサポート・プログラムの提供開始はその例であり、上記のリーダーシップ教育プログラムでもある。インタビューの中でも、発展途上国の高校に足を運び、優秀な女子高校生を選抜して梨花への進学を促し、費用を全額負担するなどして、将来のリーダー教育を担っていこうとしているとの発言があった。梨花は先進国の大学間での交換留学を以前から積極的に取り組んできており、学費援助を伴う形で発展途上国にも広げている。梨花の場合、交換留学生に関しては男性も含めて積極的に受け入れている。英語による授業プログラムも積極的に展開しており、英語のみのプログラムも数多く生まれ、蓄積されている。2018年時点で、学位プログラムの在籍留学生は1,600名、交換留学生や短期滞在留学生は1,000名に上る。そのため、2016年には留学生用の寄宿舎 (E-House、Ottogi Global House など) を新設、拡充して環境を整えている。こうした留学生拡充の背景には、韓国の急速に進行する少子化¹⁹への対策という面もあり、自国以外から優秀な女子・女性学生を、学部及び大学院に迎えるための戦略である。

もう一つ注目すべき点は、“融合”や“統合”“越境”(Collaboration / Synergy / Convergence & Interdisciplinary) を重視したカリキュラムを提供しようとしている点である。事前質問やインタビューではそれほど多くは語られていない、聞き出すことができていないのであるが、梨花女子大学の広報等では強調されている。インタビューの中ではこれからの知識基盤社会を見据え、「人文社会科学を土台としながら、理系と文系の知識を融合的に活用して、最先端の科学を駆使できる」人材の育成に力を入れていることが語られた。それまでの学問による境界を壊し、融合を目指す試みとして、2007年には重要な複数領域にまたがる課題追及のための学際的プログラム (Interdisciplinary Program) を特徴とし、創設者の名前を冠したScranton Collegeが創設された。境界を超えた学際的、国際的な学習を通じて相乗効果を挙げ、21世紀の知識基盤社会に資する人材の育成を図ろうとするものである²⁰。さらに進めて2015年にはHOKMA²¹College of General Educationを創設した。将来を担うリーダーとなるべく、様々な科目を領域横断的に学び、融合と調

¹⁷2018年秋発行の梨花女子大学紹介リーフレット“TOGETHER TOMORROW EWHA”

¹⁸表2には掲載されていないが、2007年からKOICA (the KOREA International Cooperation Agency) と共同して、発展途上国の政府職員や研究者らを対象とする大学院修士課程プログラムを提供し始めている。

¹⁹2018年の韓国の特殊出生率は、初めて1.0を割り込み0.98となり、2019年はさらに0.92まで低下している。(日本経済新聞 2019年2月28日朝刊及び2020年2月27日朝刊)

²⁰Ewha HPの“Scranton Honors Program”及び“HOKMA College”の紹介ページ。

(<http://cms.ewha.ac.kr/user/indexSub.action?codyMenuSeq=2678742&siteId=escranton&menuUIType=top>) 及び (<http://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/hokma.do>)

²¹HOKMAは、ヘブライ語の“知恵、知性、優れた判断力、多様な知識”の頭文字。同上HP。

和 (Collaboration & Harmony) の精神を育成し、より一層複雑化している実際的な諸課題を理解して、解決・改善への応用ができる知識とスキルを身につけること目指した一般教育を提供しようとの試みであり、これからのリーダーとしての役割を果たす力量育成の基礎づくりと位置づける。アメリカの教養教育でもこうした傾向は強くなっており、今後の日本の大学における一般教育、教養教育において、大きな示唆を与えてくれる。

・課題として

梨花女子大学でのインタビューと事前質問への回答を基に、女子大学としての経営戦略、力を入れているポイントについてまとめてきた。学生規模、大学院生比率、留学生数、学問領域の広さなど日本を含む他の女子大学を圧倒し、学生の学力レベルや学術レベルにおいても非常に高い水準にある。提供しているプログラムにおいては、発展途上国の幅広い範囲の女性を招き、奨学金を伴うリーダーシップ・プログラム、あるいは知識基盤社会をリードする力を身につける融合的・学際的プログラムを積極的に開発し、蓄積している。将来を見据えた積極果敢な策を実行している。

しかしその一方で、2016年に梨花女子大学は大きな汚点を残した。日本の新聞などでも取り上げられた、学生や教職員、卒業生らのデモによる Choi Kyung-hee 学長の辞任である。この抗議デモ²²のきっかけは、未来ライフ学部 (LiFE College) の設立であった。この学部は、政府が資金を提供する「生涯教育単科大学 (学部)」事業で、職業学校を出て大学に行けなかった社会人に生涯教育の場を提供し、短期間の専門教育 (美容やウェルネス産業関連とされた) で学士学位 (ニューメディア制作、健康、ハイブリッド・デザインなど) を授与するというものである。“多額の補助金欲しさに学位を売った”、“梨花女子大学の価値が下がる”などとして、2016年7月28日から学生たちが学内で座り込みを始め、教職員や卒業生もこれに加わるようになり、大学側は警察に排除を要請したことで、騒ぎはさらに拡大した。その結果、8月3日にはこの事業の取り止めを発表せざるを得なくなった。さらに9月には Park Geun-hye (朴槿恵) 大統領の友人で、影響力をもった Choi Sun-Sil (崔順実) の娘の梨花への不正入学や単位の不正取得が明るみに出ることですます学長への批判は高まり、10月18日に韓国教育省が不正入学を認めたことを受け、Choi 学長は辞任を発表したのである。

²²Ewha Voice “Class of 2016 raises voice against President at graduation.” (2016.8.29)、 “Protest against LiFE College continues throughout summer.” (2016.9.12)、 (<http://evoice.ewha.ac.kr/news/articleView.html>)。The Huffington Post “裏口入学に「親を恨め」「金も実力」…韓国の若者を怒らせた「影の実力者」の娘とは” (2016.11.19) (https://www.huffingtonpost.jp/2016/11/17/jeong-yura_n_13039350.html)。the hankyoreh “梨花女子大、教授と学生 5000人デモ…特恵入学・学事管理究明は始まったばかり” (2016.10.20) (<http://japan.hani.co.kr/arti/politics/25441.html>)。日本経済新聞 “崔容疑者の娘の不正入学を認定 韓国教育省” (2016.11.18)

これらの事件の背景については、不明確な点も多いが、一つは政府からの補助金を得て大学の財政基盤の強化を図ったとも指摘されている²³。様々な新しく魅力あるプログラムを実行していくには、多額の資金が必要となる。アメリカの女子大学でも、寄付等による資金集めキャンペーンの成否は、大学運営にとって極めて重要な要素である。梨花の場合、積極的に発展途上国の女性たちを奨学金付きで呼び込むなどのプログラムの展開、学生寮や施設の建設など、将来に向けての積極的な投資を行っていることは見てきた通りである²⁴。今後、急速に韓国の青年人口が²⁵急速に縮小していく中で、非大学卒の成人の入学が拒まれる現状において、減少していく自国の学生を補うだけの海外からの留学生（男性含）や発展途上国からの女子学生を十分に集めることができるのか。厳しい経済状況の中、奨学金を伴う魅力あるプログラムを提供していただけるだけの資金を獲得することができるのか。インタビューでは、少子化が進行する中で、学生数を絞っていくことは考えていないとのことであったが、急速に少子化が進む中、女子だけを入学対象とする女子大学が、学生の学力水準を維持していくことができるのか。自国の女子学生を絞り込み、学力水準を維持できるに十分な他国の女子学生、留学生を集めることができるのか。梨花女子大学は高い学術水準を維持しながら、学問分野の多様化を図り、教員や提供プログラムの国際化や一層の留学生受け入れなど、実に様々な面から発展戦略を周到に実行してきているが、学生規模が大きい女子のみの大学であること、韓国での少子化があまりに急速に進行しているという事実は、上に挙げてきた諸課題を差し迫ったものとしている。

インタビューの最後に、トランスジェンダー学生、あるいはその指向を持った女子学生

²³Record China（2016年6月13日）によれば、韓国の聯合ニュースの記事として、Choi Kyung-hee 学長が、アメリカや中国に分校を設置する検討を進めており、既に中国を視察し、近くロスアンゼルスも訪問する予定だとしている。創立130年を迎える梨花が海外に分校を設けるのは、長期的な展望からであるが、資金が間際だと指摘している。

(<https://www.recordchina.co.jp/b140077-s0-c30-d0035.html>) こうした大きなプロジェクトを進めるには、大きな資金を要し、当然、政府による後押しが必要となる。

²⁴Kim,S.によれば、韓国では国を挙げて海外の学生を韓国の大学に呼び込もうとしており、そのために国際学部(International Colleges)を設け、同時進行で外国人学生を迎えるキャンパス整備に取り組んでいる。その学部はアメリカのリベラルアーツカレッジを真似たもので、2006年に延世(Yonsei) 大学校が Underwood International Collegeを設けたのがその始まりで、翌2007年には梨花が Scranton Collegeをオープンさせた。学生が減少する将来を見据え、海外からの学生を増やそうとするものである。そのため、同時に外国人教員も集め、英語での授業を増やして、海外の学生を惹きつけようとしている。延世の例では国内学生と海外からの学生、それぞれ半分ずつを目論んでいたようだが、海外からはそれほど集まっていないようだ。梨花も同様である。(Kim, Stephanie K. 2015. Redefining Internationalization: Reverse Student Mobility in South Korea. In C. S. Collins and D. Neubauer (Eds.), *Redefining Asia Pacific Higher Education in Contexts of Globalization: Private Markets and the Public Good*. New York: Palgrave Macmillan. pp.41-56.

²⁵18歳、19歳の年齢人口(両性)は、2019年に1,219千人であったものが、2029年には910千人、2039年には587千人と予測している。KOSIS(Korean Statistical Information Service) HP (http://kosis.kr/statHtml/statHtml.do?orgId=101&tblId=DT_1BPA003&language=en)。さらに2018年度の特出生率は1.0を切った。

に対する大学としての対応については、まだ具体的なことは行っていないということであった。“女性リーダーになることを目指して入学してきているのであるから、そうしたことは考える必要がない”との意見も出された。日本においてもこの数年でようやく注目されるようになった課題であるが、韓国社会全体としては、まだこれに関する課題意識が希薄であることを反映していると思われる。今後、より一層の国際化を進めていこうとするならば、避けては通れない新たな課題となるであろう。

ここで見てきた梨花女子大学の様々な戦略や取り組みは日本の女子大学にとって実現が難しい面もあるが、未来を見据えた大変参考となる取り組みであると同時に、最後に述べた梨花の課題は、近い将来における日本の女子大学の課題でもある。韓国の女子大学が7校であるのに対し、日本の女子大学は75校を数える（2019年度）。

注 脚注に記載しているネットアドレスについては、すべて2020年2月26-27日に所在を再確認した。

付記

本報告は、安東由則による2015-2019年度・科学研究費助成事業（基盤研究C）「女子大学の存立意義とサバイバル戦略：日本・アメリカ・韓国の比較研究」（15K04327）の研究成果の一部である。



学生寮（House）の一部と、建設中の学生寮の一部2018年時点で4,300名がキャンパス内で暮らす。1年生全員が暮らせるようにする計画があるようだ。（2019年3月13日撮影）